教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
うさぎだるまとオリジナルだるま	高	美術 Ⅱグループ （美術）	

＜ねらい＞
・粘土の感触を味わい、粘土棒を使って粘土を引き延ばしたり、丸めたりすることができる。
・だるまの目やおなか等のデザインをサンプルの中から選んで、配色を考えることができる。

＜内容（作成方法・使用方法・工夫点など）＞
・丸めた新聞紙の上に、粘土棒で薄く伸ばした紙粘を貼り付け、自分で考えた配色やデザインを絵の具で塗っていく。
・自由に作るオリジナルだるまは、ウサギだるまの後だったので新聞紙を自分で丸めて作らせる。

＜良かった点・改善点（児童生徒の反応を含めて）＞
・１作目のだるまの目やおなかのデザインは、教師が作ったサンプルから選ばせた。２作目はイメージがつき、段取りが分かって自分なりに作る生徒もいたことは良かった。
・粘土を丸めたり、筆で目の枠を意識して塗ることができて、手指の巧緻性を高める意味では課題設定としてはよかった。
・２作目は、暗闇で光る物を材料にしたので生徒達は意欲的に取り組むことができていた。

＜その他（材料、費用、購入先等）＞
・新聞紙・紙粘土・折り紙・鉛筆・はさみ・のり